

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

別紙2

(データ集約：9/3)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成23年8月15日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	300	5.0	60
Cs-137 (約30年)	280	3.1	90
Sr-89 (約51日)	230	0.77	300
Sr-90 (約29年)	150	5.0	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、8月16日公表。

分析機関：日本分析センター（Sr-89, Sr-90），東京電力（I-131, Cs-134, Cs-137）

(評価)

Sr-89, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。